

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理							
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質・性能									
Q-1 室内環境									
1 音環境									
1.1 騒音									
1 暗騒音レベル									
2 機械騒音対策									
1.2 遮音									
1 開口部遮音性能									
2 界壁遮音性能									
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									
4 界床遮音性能(重量衝撃源)									
1.3 吸音									
2 温熱環境									
2.1 室温制御									
1 室温設定									
2 稼働稼働・適量制御性									
3 外皮性能 W									
4 ゾーン別制御性									
5 温度・湿度制御									
6 湿度制御									
7 湿度が空調に対する配慮									
8 監視システム									
2.2 湿度制御									
2.3 空調方式									
3 光・視環境									
3.1 昼光利用									
1 昼光率									
2 方位別開口									
3 昼光利用設備 W									
3.2 グレア対策									
1 照明器具のグレア									
2 昼光制御 W									
3.3 照度									
1 照度									
2 照度均斉性									
3.4 照明制御									
4 空気質環境									
4.1 発生源対策									
1 化学物質汚染									
2 化学物質対策									
3 ガス・カビ等									
4 レジダント対策									
4.2 換気									
1 換気量									
2 自然換気性能									
3 取り入れ外気への配慮									
4 結露対策									
4.3 運用管理									
1 CO ₂ の監視									
2 喫煙の制御									
Q-2 サービス性能									
1 機能性									
1.1 機能性・使いやすさ									
1 広さ・収納性									
2 高度情報通信設備対応									
3 バリアフリー計画									
1.2 心理性・快適性									
1 広さ感・景観									
2 リフレッシュスペース									
3 内装計画									
2 耐用性・信頼性									
2.1 耐震・免震									
1 耐震性									
2 免震・制振性能									
2.2 部品・部材の耐用年数									
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔 W									
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 W									
3 配管・配線材の更新必要間隔 W									
4 主要設備機器の更新必要間隔 W									
2.3 適切な更新									
1 屋上(屋根)・外壁仕上げ材の更新									
2 配管・配線材の更新									
3 運用設備機器の更新									
2.4 信頼性									
1 空調・換気設備									
2 給排水・衛生設備									
3 電気設備									
4 機械・配管支持方法									
5 通信・情報設備									

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理						
配慮項目	重点評価項目			建物全体・共用部分	住居・宿泊部分	全体		
	W	G	S				評価点	重み係数
3 対応性・更新性				3.6	0.29	-	-	3.6
3.1 空間のゆとり				5.0	0.31	-	-	-
1 階高のゆとり				5.0	0.60	3.0	-	-
2 空間の形状・自由さ				5.0	0.40	3.0	-	-
階高を5.4mとしている。 耐力壁がなく空間のプランニングの自由度を高めている								
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.31	3.0	-	-
3.3 設備の更新性				3.0	0.38	-	-	-
1 空調配管の更新性				3.0	0.17	-	-	-
2 給排水管の更新性				3.0	0.17	-	-	-
3 電気配線の更新性				3.0	0.11	-	-	-
4 通信配線の更新性				3.0	0.11	-	-	-
5 設備機器の更新性				3.0	0.22	-	-	-
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.22	-	-	-
G-3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出				1.0	0.40	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.20	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.40	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				3.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性				-	0.40	-	-	3.0
LR-1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.3
1 建物の熱負荷抑制				3.0	0.30	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.20	-	-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用				3.0	0.50	-	-	-
2.2 自然エネルギーの変換利用				3.0	0.50	-	-	-
3 設備システムの高効率化				4.3	0.30	-	-	4.3
3.1 照明にLEDを採用している								
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0
4.1 モニタリング				3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制				3.0	0.50	-	-	-
LR-2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護				3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 節水				3.0	0.60	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水再利用				3.0	0.40	-	-	-
1.2.1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.67	-	-	-
1.2.2 雑排水再利用システム導入の有無				3.0	0.33	-	-	-
2 低環境負荷材				3.0	0.85	-	-	3.0
2.1 資源の再利用効率				2.3	0.35	-	-	-
2.1.1 躯体材料の再利用効率				3.0	0.67	-	-	-
2.1.2 非構造材料の再利用効率				1.0	0.33	-	-	-
2.2 持続可能な森林から産出された木材				3.0	0.04	-	-	-
2.3 有害物質を含まない材料				3.0	0.08	-	-	-
2.4 既存建築躯体などの再利用				3.0	0.18	-	-	-
2.5 部材の再利用可能性				4.0	0.18	-	-	-
2.6 フロン・ハロンの回避				3.3	0.18	-	-	-
2.6.1 消火剤				4.0	0.33	-	-	-
2.6.2 断熱材				3.0	0.33	-	-	-
2.6.3 冷媒				3.0	0.33	-	-	-
躯体と仕上材を容易に分別できる。 ハロン消火剤を使用していない。								
LR-3 敷地外環境				-	0.30	-	-	2.4
1 大気汚染防止				3.0	0.15	-	-	3.0
2 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.10	-	-	3.0
2.1 騒音				3.0	0.33	-	-	-
2.2 振動				3.0	0.33	-	-	-
2.3 悪臭				3.0	0.33	-	-	-
3 風害、日照障害の抑制				1.6	0.10	-	-	1.6
3.1 風害の抑制				1.0	0.70	-	-	-
3.2 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	-
4 光害の抑制				4.0	0.05	-	-	4.0
広告塔を内照式としグレアに配慮している。								
5 温熱環境悪化の改善				1.0	0.30	-	-	1.0
6 地域インフラへの負荷抑制				3.6	0.30	-	-	3.6
6.1 雨水処理負荷抑制				3.0	0.30	-	-	-
6.2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.10	-	-	-
6.3 交通負荷抑制				5.0	0.30	-	-	-
6.4 廃棄物処理負荷				3.0	0.30	-	-	-
自転車置き場(40台)、駐車台数の確保(89台)								

■ LR-1 用途別得点表		物販店	-	-	-	面積按分 総合スコア
1	建物の熱負荷抑制	3.000 m2	-	-	-	3.0
3	設備システムの 高効率化	ERRIによる評価 個別設備による評価	-	-	-	4.3
3.1	空調設備	4.0	-	-	-	-
3.2	換気設備	5.0	-	-	-	-
3.3	照明設備	5.0	-	-	-	-
3.4	給湯設備	3.0	-	-	-	-
3.5	昇降機設備	-	-	-	-	-